平成30年度 第1回蒲郡市都市計画審議会

1 日時

平成30年6月28日(木)午前10時から

2 場所

蒲郡市役所 新館6階 第2委員会室

3 出席委員数

11名

4 審議会の結果

- 議題 1 国立大学法人豊橋技術科学大学 教授 浅野純一郎委員が選出されました。
- 議題2 建築基準法の一部改正に伴う柏原工業用地地区計画の変更については、原案のとおり議決しました。

5 議事案件

番号	議題
1	蒲郡市都市計画審議会会長の選出について
2	建築基準法の一部改正に伴う柏原工業用地地区計画の変更について

6 質疑概要

○議題2

- 問1 柏原工業用地地区計画区域での造成事業の進捗と、進出企業の見通しについて伺いたい。
- 答 1 企業立地推進課の担当する業務になります。そこからの情報によると、複数の企業から工業用地に対して興味を示していただいている、とのことです。また、造成事業の進捗については、6月議会において造成工事施工者との契約が議決され、契約を締結しました。7月7日に柏原地区で工事説明会を開催する予定にしております。現場着手は8月の盆明けになると思われます。

〇報告事項

- ✓ 都市計画変更の予定案件について
 - 問 1 都市計画変更の予定案件である『臨港地区の指定』について、指定 されるとどうなるのか。
 - 答 1 臨港地区は、港湾施設として適切に管理・運営することを目的に指 定されます。区域内は、愛知県の条例で、土地利用の目的にあわせて 区分され、その区分毎に建物用途が規制されます。

✓ 蒲郡市立地適正化計画について

- 問1 他の観光地において、自転車での移動を聞くことがあるが、自転車 道の整備についてはどう考えているのか。
- 答 1 具体的なハード整備の明示は考えていませんが、都市機能を誘導し 自動車に過度に頼らない、いわゆる歩いて暮らせるまちになるよう考 えています。そうすると、例えば、市街地の歩道のバリアフリー化を 進めていく必要性が高まることが考えられます。
- 問2 施策との調整をどのように図っているのか。
- 答2 多くの分野にわたる計画ですので、関連部局と個別に打合せ、誘導 施設・施策の計画への位置付けについて調整を図っています。
- 問3 歩いて暮らせるまちという話が出たが、車の自動運転技術の進歩も あり、どのように考えているか聞きたい。
- 答3 今後の公共交通機能の変化の可能性としてあるかと思いますが、今後の技術の進歩に期待することになるため、現在の公共交通機能で対応することが現実的であると考えています。今後、自動運転が発達したとしても、公共交通機能として全市民が平等に利用できる機能かということが重要となります。
- 問4 立地適正化計画は、都市計画マスタープランの高度化版ということで、重要な市の上位計画となるので、作成時に委員会や市民に向けて開示し段階的に意見を取り入れ、関心を持ってもらい、関わってもらいながら作成すべきでは。
- 答4 策定委員会を設置し、さまざまな方、団体の担当レベルの方に参加 していただいています。団体としては商工会議所や商店街組合、市民 の方では協働について勉強をされている方などです。委員会では、事 務局案に対しさまざまなご意見をいただいており、事務局として気づ

かされる部分が多数あります。委員会において、市民目線・事業者目線からのご意見をいただき、公表時には十分周知を図り運用したいと考えています。

意見1 竹島水族館が繁盛しているので、市として周辺の開発にも力を入れていただきたい。また、蒲郡駅の北側は、コンパクトなまちづくりにおいて重要な地域なので、ぜひ高齢者が行き来できるような形にしてほしい。

✓ 蒲郡市景観計画について

- 問1 国定公園の権限を東三河広域連合・蒲郡市に下ろしてもらうことも 踏まえた計画ならば必要性を理解できるが、国定公園の強い規制がか かっている状況でさらに景観計画も策定すると、バイアスになるので はないか。また、ゾーニングを行い、その中で開発行為を規制してい くことが景観維持につながるのか。伺いたい。
- 答 1 景観計画は、景観法に基づいて策定しますが、良好な眺望景観を維持・保全するため、一定規模以上の建物の色彩を制限することを考えています。具体の建築物の立地の規制等は、必要があれば検討するものですが、現在は考えておりません。また、権限委譲についても考えておりません。
- 問2 景観計画を策定すると、景観に関連する市民活動団体との連携が重要になると思われる。景観に寄与する活動団体への資金援助等の支援の仕方について、屋外広告物の規制とどのように整合を取るのかの考えを伺いたい。
- 答2 規制をかけるだけでは景観は形成されないため、市民の意識向上を 図りながら、地元の協力もいただき、具体的な取り組みが必要だと考 えています。活動団体への支援等具体的なアイデアをいただく機会が あればいただきたいと思います。